

## 長崎県観光動向調査 (令和4年4～6月分)

### 主要指標

令和4年4～6月

	対象 施設	延べ宿泊客数 利用者数	R4-R3 同期比		(参考)R4-R2 同期比
			増減率	増減数	増減率
主要宿泊施設	203	1,200千人	+91.9%	+575千人	+259.7%
主要観光施設	28	1,075千人	+112.6%	+570千人	+321.0%

令和4年1～3月

	対象 施設	延べ宿泊客数 利用者数	R4-R3 同期比		(参考)R4-R2 同期比
			増減率	増減数	増減率
主要宿泊施設	197	818千人	+31.7%	+197千人	▲ 18.6%
主要観光施設	28	615千人	+23.1%	+115千人	▲ 34.7%

	主要宿泊施設 客室稼働率	前年同期比 (ポイント)
4～6月累計	59.5%	+ 22.9
4月	57.9%	+ 15.6
5月	62.2%	+ 30.8
6月	58.2%	+ 22.4

### 概況

主要宿泊施設の宿泊客数は、4月は県の旅行割引を九州ブロックまで対象拡大したことや一部市による旅行割引の効果などにより、対前年同期比+45.2%となった。5月の大型連休中は、3年ぶりに行動制限のない大型連休であったことや天候に恵まれたことから、対前年同月比+141.6%となり、6月以降も旅行需要が堅調に推移したことや修学旅行の需要増などから、4～6月全体で対前年同期比+91.9%となった。

主要観光施設の利用者数は、昨年は新型コロナウイルスの影響で、4月から5月にかけて観光施設が休館していたのに対し、本年は3年ぶりに行動制限のない大型連休となり、また、6月以降も例年より早い梅雨明けとなり天候に恵まれたことから、多くの施設で利用者が前年を上回り対前年同期比は+112.6%となった。

## ブロック別の主な増減要因

### 【長崎・西彼ブロック】

県独自の緊急事態宣言の影響で昨年は多くの観光施設が休館となっていたことの反動もあり、主要観光施設全体の利用者数は対前年増となった。宿泊客数は、県の旅行割引の効果や修学旅行の需要増などにより、4～6月期全体の対前年同期比は+117.7%と大幅に増加した。

### 【佐世保・西海・東彼・北松ブロック】

天候に恵まれた大型連休などの影響で、4～6月期全体の主要観光施設利用者数は軒並み対前年増となった。県や一部市による旅行割引の効果やハウステンボス及びその周辺の宿泊施設における修学旅行の需要増などにより、4～6月期の宿泊客数は対前年同期比+90.2%となった。

### 【平戸・松浦ブロック】

平戸地区は主な観光施設利用者数が対前年増となり、また県や市の旅行割引の効果もあり旅行需要の回復が見られたことや、松浦地区は工事関係者の宿泊需要が堅調に推移したことなどから、4～6月期の宿泊客数は対前年同期比+100.8%となった。

### 【諫早・大村ブロック】

引き続き電子部品関連等のビジネス客の宿泊需要が堅調に推移しており、感染拡大時においても、他のブロックと比較すると影響が小さかったことから、4～6月期の宿泊客数は対前年同期比+39.9%と他と比べると低い増加率となった。

### 【島原半島ブロック】

屋外施設の来訪者数が増加したことから、4～6月期全体の主要観光施設利用者数は軒並み対前年増となった。関東からの宿泊客の増加や修学旅行の宿泊需要があったことなどから、4～6月期の宿泊客数は対前年同期比+76.1%となった。

### 【五島ブロック】

ビジネス客の宿泊需要が堅調に推移したことや関東からの宿泊客が増加したことなどから、4～6月期の宿泊客数は対前年同期比+73.2%となった。

### 【壱岐ブロック】

関東からの団体ツアー客の宿泊客が増加したことなどから、4～6月期の宿泊客数は対前年同期比+82.6%となった。

### 【対馬ブロック】

韓国人観光客の回復は鈍いものの、県の旅行割引の効果もあり国内客が増加したことなどから、4～6月期の宿泊客数は対前年同期比+66.5%となった。

### 【参考】外国人観光客（宿泊客）の動向

訪日外国人観光客の受入が約2年ぶりに再開となったものの、添乗員同行のパッケージツアーに限られたため効果は限定的であった一方で、佐世保地区における米軍基地関連のアメリカからの宿泊需要が安定して推移したことから、4～6月期の外国人宿泊者数は対前年同期比+17.1%となった。

(参考資料)









